

《折り鶴プロジェクト開催報告 》

私たちの東北は、2011年3月11日一瞬（しゅん）にして多くの大切なものを失いました。

そのような東北の子供たちの為にアメリカのボランティア団体スチューデント・リビルドが、始めた折り鶴を日本の子供たちの為に折る活動は、後に世界の子供たちへと展開されました「ペーパークレーン・フォー・ジャパン／折り鶴を日本へ」というキャンペーンの形になりました。

この世界中の子供たちの思いを込められた折り鶴は、38カ国200万羽を超え、一羽の折り鶴に対して2ドルの寄付金を支援してくれたベズス・ファミリー・ファンデーションからの義援金の設定額も当初の倍の40万ドルに増額。匿名の寄贈者からの10万ドル合わせて50万ドルが、東北大震災で被災した子供たちへの復興支援金として届けられました。

この活動の精神を残すために10万羽の折り鶴が、

アメリカのNPOアーキテクチャー・フォー・ヒューマニティを通して

NPO法人、東北の造形作家を支援する会（SOAT）に託されました。

SOATは、この折り鶴を使用したオブジェの形を東北芸術工科大学と共に企画『～にじいろぱれっと・ありがとうをかたちに～スチューデント・リビルド折り鶴プロジェクト』として開催を致しました。

参加した1000人以上の子どもたち等の手により折り鶴オブジェとして形を変えたこのオブジェは、世界中の子供たちからの象徴的なプレゼントとなりました。

尚、この一連の企画催しは、NHKワールド放送により世界中で放映された他、日本国内メディア、ミヤギテレビ「オーパンドス」・東日本放送ニュース・東北放送「ウオッチンミヤギ」にて、テレビ放映、産経新聞・中京新聞・河北新報・読売新聞・山形新聞、にて掲載されました。

【折り鶴オブジェの設置場所】

- 仙台市立榴岡小学校●仙台市立東二番丁小学校●仙台市幸町児童館
- 仙台市中央市民センター（2012年1月20日～2月5日展示終了）

【主催】NPO法人東北の造形作家を支援する会

【共催】スチューデント・リビルド／アーキテクチャー・フォー・ヒューマニティ

【協賛】 ベゾス・ファミリー・ファンデーション／エスパル仙台

【名義協力】 宮城県、仙台市、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、
（財）宮城県文化振興財団、（公財）仙台ひと・まち交流財団、NHK 仙台放送局
TBC 東北放送、仙台放送、宮城テレビ、KHB 東日本放送、河北新報社、
読売新聞東北総局、山形新聞・山形放送、朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台支局

【協力】 東北芸術工科大学、東北生活文化大学、宮城教育大学、仙台市立榴岡小学校
仙台市立東二番丁小学校、仙台市中央市民センター、榴ヶ岡市民センター、
仙台市幸町市民センター、仙台市幸町児童館、仙台美術研究所、アトリエ ZON、
alternartCT

【企画・制作協力】 東北芸術工科大学 総合美術コース

『にじいろぱれっと・ありがとうをかたちに』折り鶴プロジェクト／

スチューデント・リビルド》 2012年1月13日 オープニング風景



榴岡小学校5、6年生150名 東二番 小学校3年生30名参加

世界38カ国の子供たちから10万羽の折り鶴が届けられました。



参加者全員で「ふるさと」合唱

『2012年1月16日～折り鶴オブジェ展示状況』

仙台市立榴岡小学校様 ↓



仙台市／幸町児童館様

仙台市立東二番丁小学校



* 2月5日の中央市民センター様展示(2012年1月20日~2月5日展示終了)



『NHKワールド生中継放送1月18日』榴岡小学校生が、世界に向けて英語や数カ国語でありがとうのメッセージを伝えました。